

1. 科目名 (単位数)	日本語学習とマルチメディア (2単位)		3. 科目番号	EIJP2361
2. 授業担当教員	唐沢 俊光			
4. 授業形態	講義・演習		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	情報処理演習 I で学習した Word や PowerPoint のスキルを活用した演習を行うため、復習した上で授業に参加することが望ましい。			
7. 講義概要	古くから視聴覚教材は語学学習に有効な教材として使われてきた。近年のコンピュータ環境の進歩により、マルチメディア、インターネットを利用した高度な学習システムやサービスの一般利用が可能となった。このような教材を扱う技術や知識を得ることは語学学習者・教育者にとって重要である。本講義では、マルチメディア教材の有効性について学習し、IT を用いた日本語学習教材について演習によって操作方法などを修得する。また、日本語教育に必要なマルチメディア教材について分析・検討する。			
8. 学習目標	日本語学習にマルチメディアがどのように関係するかを知り、その効果的な利用方法について学ぶ。講義、演習を通して、IT を用いた日本語学習コンテンツに関する基礎的な知識や操作方法を修得する。日本語教育の実践に向けた教材の作成技術を習得する。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	マルチメディアや ICT を活用して、日本語を学習する外国人向けに、日本語学習のための教材を作成する。教材は PowerPoint を使って作成するため、技術的な制約が多くあるが、それらの制約の中で実現可能なことを 模索し、自ら創意工夫して課題作成に取り組むことを求める。作成した課題作品教材については、受講者同士で試用し、相互評価を行う。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 必要な教材については資料を配布する。 【参考書】 山田智久『ICT の活用 第 2 版 (日本語教師のための TIPS 77 第 2 巻)』くろしお出版、2017。その他の参考書については、授業内で紹介する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. マルチメディア技術を用いた日本語学習コンテンツに関する知識を得る。 2. IT を用いた日本語学習コンテンツに関する操作方法を修得する。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、課題等を総合して評価する] 1. 授業への積極的参加、受講態度 30% 2. 授業ごとに課されるレポートや課題 70%			
12. 受講生へのメッセージ	マルチメディアを活用した様々な日本語学習教材を実際に体験し、それらの活用方法について議論する。また、日本語学習のための教材を作成することを通して、日本語学習に必要な学習の在り方や、教材作成に活用できるマルチメディアの特性等について理解を深める。授業の教材や課題等は学生の理解度に合わせたものを準備している。しかし、専門知識を学ぶ科目であるために、専門用語等が多く含まれている。受講生は、自ら専門用語等を調べ、理解する学習意欲とともに日本語能力も大切になる。			
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	イントロダクション メディアとは何か、マルチメディアとは何か、ICT とは何か		事前学習	「メディア」「マルチメディア」「ICT」等の用語について、意味や用法、それぞれの違い等についてを調べておく。
			事後学習	身の回りで活用されているメディア、マルチメディア、ICT について検討する。
第 2 回	マルチメディアを活用した学習教材の例		事前学習	今までに、使ったことがある語学教材について、どのような特徴があったか思い出しておく。
			事後学習	授業で紹介した教材について、興味を持ったものを選び実際に使ってみる。
第 3 回	マルチメディアを活用した語学教材の調査 (1) 既存の語学教材にはどのようなものがあるか		事前学習	前回授業で扱ったもの以外に、どのような語学教材があるか調べる。
			事後学習	授業での情報交換を元に、既存の語学教材についてさらに調査を行い、まとめておく。
第 4 回	マルチメディアを活用した語学教材の調査 (2) 興味を持った語学教材に関する調査とレポート作成		事前学習	語学教材の中から興味を持ったものを選び、それについての資料を収集しておく。
			事後学習	調査レポートを完成させて、提出する。
第 5 回	マルチメディアを活用した語学教材の調査 (3) 語学教材調査レポートの発表		事前学習	調査レポートを元に、発表準備をしておく。
			事後学習	レポートに対する評価に基づいて、調査内容をさらに深化させ、まとめておく。
第 6 回	MOOC を使った学習の体験 (1) MOOC とは何か、代表的なプラットフォーム		事前学習	MOOC とは何であり、どのような特徴があるか調べておく。
			事後学習	MOOC プラットフォームの中から自分が使ってみたいものを選び、使い方を確認する。
第 7 回	MOOC を使った学習の体験 (2) MOOC と語学学習の親和性を考える		事前学習	MOOC を使った語学学習の可能性について考えておく。
			事後学習	実際に MOOC で学習に取り組む。
第 8 回	MOOC を使った学習の体験 (3) MOOC のメリット・デメリットを考える		事前学習	MOOC での学習を振り返り、メリットとデメリットを考えておく。
			事後学習	MOOC を活用した語学学習の在り方について再検討し、まとめておく。

第9回	ディスカッション：日本語を学習する外国人は、どんな語学教材を求めているのか？	事前学習	日本語を学習する場合、どのような教材があると自分としては嬉しいかを考えておく。
		事後学習	ディスカッションの内容を踏まえて、日本語学習の教材に必要な要素について考察し、まとめておく。
第10回	教材作成に活用できる PowerPoint のスキル	事前学習	PowerPoint の基本的な使い方について復習しておく。
		事後学習	PowerPoint のスキルを復習し、自在に活用できるように練習する。
第11回	マルチメディアや ICT を活用した語学教材の作成 (1) 作成したい教材の検討	事前学習	第9回授業のディスカッション内容を思い出しておく。
		事後学習	自分が作成したい教材の概要を整理し、まとめておく。
第12回	マルチメディアや ICT を活用した語学教材の作成 (2) PowerPoint を用いた教材の実装方法検討	事前学習	教材作成において必要となる PowerPoint のスキルを復習しておく。
		事後学習	教材作成に継続的に取り組む。
第13回	マルチメディアや ICT を活用した語学教材の作成 (3) 教材の作成と完成	事前学習	教材作成に必要な資料等を収集し、準備しておく。
		事後学習	教材を完成させて、提出する。
第14回	マルチメディアや ICT を活用した語学教材の評価 (1) 作成した教材の発表会と試用	事前学習	作成した教材について、発表に含めたい事項 (工夫した点等) を確認しておく。
		事後学習	他の受講生が作成した教材をさらに試用し、コメント等を整理し、まとめておく。
第15回	マルチメディアや ICT を活用した語学教材の評価 (2) 作成した教材の相互評価 授業のまとめ：語学教材とマルチメディアの関係	事前学習	自分が作成した教材について、自己評価しておく。
		事後学習	科目全体での学習内容を復習し、マルチメディアや ICT と日本語学習の関係について復習し、まとめておく。